

開催概要

- ・ 日時：平成29年3月21日(火)14時～16時半
- ・ 場所：浜松市役所 本館 8 階
- ・ 出席者：82名（意見交換参加者：15名、その他：67名）

参加者内訳

- ・ 行政：静岡県、岐阜県、静岡市、袋井市、磐田市、湖西市、豊橋市、浜松市、国土交通省 48名
- ・ 民間企業：（株）東芝、JIPテクノサイエンス（株）等 16社34名

結果概要

- ・ 浜松市から「インフラメンテナンス国民会議」地方版フォーラム（中部）等を通じたマッチングに至った経緯や本報告会の趣旨説明があり、その後、（株）東芝、JIPテクノサイエンス（株）からそれぞれ実証実験の報告が行われた。
- ・ その報告を受けて、舗装点検要領の取り扱いとICT技術を活用した簡易的な舗装点検の実用性についての意見交換が実証実験を行った2社と行政の間で行われた。意見交換において、民間企業から「ICT技術による簡易的な舗装点検は、精度を過度に重視するものではなく、効率的に舗装の状況の傾向を掴むためのツールとして活用していただきたい。」、行政から「ICT技術の活用にあたっては、舗装の状況をどのレベルまで把握したいのか、そして、どのように補修を行っていくのかなど目的を明確にして、点検のための点検にならないこと。次に繋げていくことが重要である。」といった意見が出された。
- ・ 最後に、国土交通省総合政策局公共事業企画調整課から「舗装の技術は全国的に非常に関心が高い。5月には舗装の点検をテーマにしたセミナーを予定している。」、中部地方整備局道路部から「平成29年度より、舗装点検要領により、目視または機器を用いて点検・診断することとなる。効率的な点検を行うには機器の活用が重要である。今後機器に関する民間技術について、要求性能に基づく技術の公募・フィールド実験・評価が行われる予定。」としてとりまとめた。

「インフラメンテナンス国民会議」協力による
ICT技術による路面性状調査の実証実験報告会 概要



実証実験実施企業の発表の様子



意見交換の様子